

クリーニング

店員と一緒に状態確認

(2018年4月3日掲載原稿)

4月に入り、春夏物への衣替えで、冬に使用した衣類をクリーニングに出す機会が増える時期です。クリーニング店を賢く利用し、トラブルを未然に防ぐために、次の点に注意しましょう。

【お店選び】

「LD マーク・S マーク」を基準に選びましょう。マークを表示している店はトラブルが発生した時に「クリーニング事故賠償基準」に基づいて賠償を行っていますので、安心の目安となります。

【依頼時】

上下セットやフード、ベルトなどの付属品は一緒に出しましょう。
店員と一緒に衣類の種類や点数、付属品の有無、ほつれ、汚れなどを確認しましょう。
汚れの原因やクリーニングに関する要望をきちんと伝え、処理方法や料金を確認しましょう。

預かり票には付属品の有無、仕上がり日、要望事項なども記載・記録してもらい、大切に保管しましょう。

【引取り時】

点数や付属品、依頼内容の仕上がりのほか、色変わりや破損などの不具合がないか店員と確認しましょう。

【保管時】

ビニールカバーを外し、風を通して直射日光が当たらない所で保管しましょう。ビニールカバーは運搬用で、そのままにしておくと変色やカビの原因になります。衣類はたとえ未着用でも経年劣化しますから、自宅での保管状態も大切です。

クリーニングは生活に密着したサービスです。消費者がクリーニング店に依頼する時や、引き取る時に確認することで、防ぐことができるトラブルもあります。もしも破損や紛失などがあった場合、できるだけ早く店に申し出ましょう。両方で解決できない場合は消費生活センターへ相談してください。